

第44回 大阪市人権施策推進審議会 会議要旨

1 日 時 令和4年2月8日(火) 午後1時～午後2時30分

2 場 所 大阪市役所7階 市会第6委員会室

3 出席者

(審議会委員)

*：ウェブにて参加

- | | | |
|----------|----------------|------------|
| ・池上 綾子 | ・江渕 桂子 * | ・香川 婦美子 |
| ・武田 丈 * | ・辻 義隆 | ・中東 宏一 |
| ・ほそみ たく | ・前田 直子 * | ・三成 美保(会長) |
| ・森山 よしひさ | ・矢倉 昌子(会長代理) * | ・山田 はじめ |

(事務局)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| ・山本 市民局理事 | ・福岡 ダイバーシティ推進室長 |
| ・森 人権企画課長 | ・藤本 共生社会づくり支援担当課長 |
| ・泉 多文化共生担当課長(代理出席:大野課長代理) | |
| ・北邑 人権啓発・相談センター所長 | |
| ・廣原 人権企画課担当係長 | |

4 議 題

【議題】

- (1) 大阪市人権行政推進計画に基づく令和3年度の取組について
 - ア 「人権が尊重されるまち」指標(令和3年度版)(案)について
 - イ 人権啓発の取組について
 - ウ 人権相談の取組について
- (2) 個別の課題について
 - 新型コロナウイルス感染症に関連した人権課題について

5 議事要旨

開催に当たり、事務局より、委員の本人確認を行うとともに、ウェブ会議の方法で出席される委員については、委員間で映像と音声即時に伝わることを確認した。

- (1) 大阪市人権行政推進計画に基づく令和3年度の取組のうち、「人権が尊重されるまち」指標(令和3年度版)(案)について説明した。

委員からは、毎年実施している民間ネット調査の調査手法や経年変化に関する質問の他、昨今取り上げられることの多いヤングケアラーやLGBT等の性的少数者に係る大阪市の対応状況についての質問があった。事務局より、ヤングケアラーについては、実態調査等を行い早期発見・支援策推進・認知度向上の検討を行っていることを説明した。LGBTについては、直近の民間ネット調査でも大阪市の取組みに肯定的評価が寄せられている旨を報告した。

なお、委員から男女共同参画に係る調査手法等の質問・提言等があり、これについては確認のうえ後日回答することとした。

- (2) 大阪市人権行政推進計画に基づく令和3年度の取組のうち、人権啓発の取組み、人権相談の取組みについて説明を行った。

委員からは、啓発媒体として継続発行している「KOKORO ネット」に「大阪市性の多様性尊重大賞」表彰式の模様が掲載されていたが、市長が極力臨席するか、代理の場合は写真に説明を加えておいてほしいとの要望があった。

- (3) 個別の課題として、「新型コロナウイルス感染症に関連した人権課題について」報告を行った。委員から特段の質問・意見等はなかった。

6 会議資料

資料 1	「人権が尊重されるまち」指標(令和3年版)(案)
資料 2	大阪市人権啓発・相談センターにおける啓発事業の取組みについて
資料 3	大阪市人権啓発・相談センターにおける人権相談の取組みについて
資料 4	新型コロナウイルス感染症に関連した人権問題について
資料 4(別紙)	各所属におけるシトラスリボンの取組実施状況(令和4年1月4日現在)